

—北海道—

社会人5年目を迎えて…

1. はじめに

就職活動の際に特段やりたい事や携わりたい仕事が決まっていなかった私は、工業高校に通っていたという事もあり、北海道庁の土木系技術職の採用試験を受けた。その後、試験に無事合格し、平成30年4月採用され、上川総合振興局旭川建設管理部事業課に配属となり4年が経過した。今回、私の業務内容と、業務を通じ得られたことについて紹介する。

2. 旭川建設管理部事業課での業務

事業課では、土木工事（私の場合は主に河川系）の予算要求、委託や工事の発注・監督業務、施設の維持管理業務にあっている。未熟な私にとっては、建設コンサルタントとの打合せや住民対応等、円滑に進めることができず、悩む場面も数多くあるが、上司にサポートしてもらいながら、忙しくも充実した毎日を過ごしている。



監督業務の様子

3. 私の目標

社会人として理想的なのは、しっかりと目標を持って業務に携わり、そのなかでスキルアップを図っていく姿かとは思いますが、実際はそうではない方も少なくないのでは無いかと思う。

前段で述べたとおり、私も明確な動機がないまま、この道（土木系技術職）を選んだため、入庁当初は、自分の目標も将来像も思い浮かべてはいなかった。しかし、工事の発注や監督業務をこなしていくうちに、工事が完成した時に得られる充実感とともに、

次回の工事では、今回より少しでも現場に添った工夫が必要なことや、地域住民・環境への配慮等、発注する前に十分に考えておかなければならない課題がたくさんあることに気付かされた。そして、淡々と業務を進めるのでは無く、今後の業務に活かせるよう、改善すべき課題を抽出し、それらをひとつひとつクリアしていきながら、年月はかかるかもしれないが、いつか一人前の土木技術者になりたいと思うようになった。このように、私は目の前の仕事に取り組んでいるうちに、自分の目標を見つけることができた。

4. おわりに

目標のある人とない人とは、将来の仕事の質や作業効率に差が出てくるのではないかと私は思う。

新人職員にとっては、わからないことばかりで、すぐには目標ややりがいを見つけられないことも多々あると思う。だが、どのような仕事に携わったとしても、そこで得られる経験は貴重なものであり、是非、反省や失敗を忘れずに、次回に向けた改善点を考えて欲しい。

私も気が付けば入庁して5年目に突入したが、まだまだ、知識・経験不足を日々痛感している。

これからも新しい仕事に積極的に挑戦し、様々な問題に立ち向かい、技術を磨いていく。



橋梁架設状況（比布川広域河川改修工事）

前北海道 上川総合振興局 旭川建設管理部 事業室 事業課
（現北海道 十勝総合振興局 帯広建設管理部 事業室 事業課）

すずきはやて
技師 鈴木 颯